

## 大東文化大学学長杯

# 第22回 英語スピーチコンテスト

本コンテストは、これまでの英語スピーチコンテストを拡充して、オンライン環境を活用して、英語でプレゼンテーションを行うスキルを競い合うコンテストで、英語力の向上のみならず、デジタルツールを用いて発表するスキルを磨く機会を提供するために開催するコンテストである。

### 1. 主催・運営・協力・後援

- 主催 大東文化大学外国語学部英語学科  
運営 大東文化大学英語スピーチコンテスト実行委員会  
(外国語学部英語学科、外国語学会英語部会)  
協力 国際交流センター事務室  
後援 埼玉県(高校生の部)・大東文化大学青桐会

### 2. 開催内容

- 開催日時 2022年10月29日(土) 開場12:45 / 開始13:00  
開催方法 録画映像によるオンライン開催  
テーマ **Life After COVID-19 Pandemic 「コロナ後の世界」**  
出場者 ①高校生の部(全国) 10名程度  
②大学生の部(大東文化大学生のみ) 10名程度  
実施内容 予選審査(原稿と音声または映像)で選ばれた各部門10名程度、計20名程度が本選に臨む。  
参観方法 本選を参観するには、大会ホームページで案内されるZoomのリンクにアクセスする。

### 3. 発表形式(形式:スピーチ / 言語:英語)

- ①本選での発表は、提出された録画映像を上映する。制限時間は5分とし、超過した場合は減点する。
- ②内容はテーマに沿っていれば自由だが、本選開催日の時点で未発表であるものに限る(他の類似のコンテストで発表していないこと)。
- ③剽窃は厳に禁止する。引用はそれと分かるような表現で明示すること。違反した場合、失格とする。
- ④本選では、予め提出された録画映像を、Zoom内でストリーミング放映する。
- ⑤録画映像では、本人の顔は常に画面に映され、口元が確認できること。本人の音声である限り、編集作業は行って構わない。
- ⑥プレゼンテーションスキルとして、スライドや画像、動画などを積極的に活用することを推奨する。

ただし、本人は必ず画面に映っていること。

- ⑦発表映像録画中に原稿を見ることは妨げないが、画面上でのアイコンタクトの度合いも採点対象となる。
- ⑧服装は自由だが、着ぐるみや奇抜な衣装ではないこと。
- ⑨入賞者には、当日 Zoom 内でコメントをお願いする。

#### 4. 応募資格

- ①下記のA～Cのいずれにも該当しないこと。違反して出場した場合、失格となる。

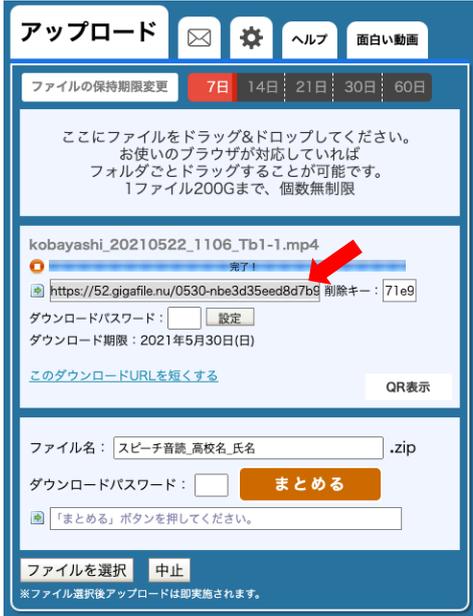
A	満5歳の誕生日以後に、通算12ヶ月を超えて、英語圏(*)に居住したことがある。
B	日本国内、海外を問わず、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校(アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で行っている学校を含む)に6か月以上在籍したことがある。
C	保護者または同居親族に、英語を母語とする者もしくは英語圏(*)出身の者がいる。 (*)「英語圏」とは、英語を(i)第一言語、(ii)公用語、又は(iii)公用語に準ずる言語として使用する国・地域を指す。具体的な国名・地域名は本要項の巻末に掲載する。

- ②高校生の部には、同一高校から1名のみが応募できる。個人で応募する場合、予め自校の英語担当教員に確認する。
- ③大学生の部には、大東文化大学のいずれかの学部在籍している学生が応募できる。
- ④個別ケースの参加資格の有無については、実行委員会が判断する権利を有する。

#### 5. 賞および賞品

部門	賞	賞品	賞の位置づけ
2部門 共通	学長賞	ギフト券 5万円相当	2部門を通じて最も優れていた者 (2部門間の最優秀から1名選出)
大学生	青桐会長賞/ 最優秀賞	ギフト券 3万円相当	学長賞を除き、大学生の部で最も優れていた者
	優秀賞	ギフト券 2万円相当	2番目に優れていた者
	奨励賞	ギフト券 1万円相当	3番目に優れていた者
高校生	埼玉県知事賞/ 最優秀賞	図書カード 2万5千円 相当	学長賞を除き、高校生の部で最も優れていた者
	優秀賞	図書カード 1万5千円 相当	2番目に優れていた者
	奨励賞	図書カード 5千円相当	3番目に優れていた者
2部門 共通	参加賞	図書カード 3千円相当	上記入賞者以外の全出場者

## 6. 応募要領

<p>応募資料</p>	<p>1. 応募用紙を本学HPからダウンロードする（高校生用、大学生用に分かれている）  <a href="https://www.daito.ac.jp/campuslife/contest/e-speech.html">https://www.daito.ac.jp/campuslife/contest/e-speech.html</a>          必要事項を記入し、ファイル名末尾の “_yourname” の部分を自分の氏名に変える。</p> <p>例（高校生）： esc2022_app_h_大東花子.xlsx          例（大学生）： esc2022_app_u_大東花子.xlsx</p> <p>2. スピーチ原稿 MS-Word ファイル。          本文の冒頭に、タイトル、所属、氏名を明記。以下のファイル名で保存。          ファイル名（高校生）：スピーチ原稿_高校名_氏名.docx          ファイル名（大学生）：スピーチ原稿_学科名_氏名.docx</p> <p>3. スピーチの音読音声ファイルまたは動画          ファイル名（高校生）：スピーチ音読_高校名_氏名.mp3（拡張子は例）          ファイル名（大学生）：スピーチ音読_学科名_氏名.mp3（拡張子は例）          冒頭にタイトル、所属、氏名を述べる。本文が5分を超えていないことを確認。</p>
<p>提出先</p>	<p>応募用紙とスピーチ原稿を <a href="mailto:daito-esc@ic.daito.ac.jp">daito-esc@ic.daito.ac.jp</a> へ送信。件名：スピーチコンテスト応募</p> <p>音声・動画ファイルはメールに添付せず、次に説明する大容量ファイル転送サービス経由で提出。メールにはファイルダウンロードのリンクのみ記載する。</p> <p>ファイル転送サービス：<a href="https://gigafile.nu/">https://gigafile.nu/</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上で指定した形式のファイル名で音声または動画ファイルを作成し、上のサービスにアップロード。</li> <li>ファイルの保持期限は、書類整理に要する時間を考慮して、21日に変更（初期状態では7日）。</li> <li>ダウンロードパスワードを設定した場合には、それもあわせてメールで送信。</li> <li>表示されるダウンロードリンク（図中の赤矢印部分）をメールにコピーして送信。</li> <li>受理が確認されてからデータを削除したい場合には、削除キーを保管しておく。</li> </ul> 
<p>応募期間</p>	<p>2022年9月1日（木）00:00 JST ～ 2022年9月16日（金）23:59 JST</p>
<p>結果通知</p>	<p>2022年10月上旬頃にメールで通知</p>

## 7. 提出動画について

- ① 動画の作成方法については、末尾の「参考」を参考にしてください。
- ② 応募時点で動画を提出した場合、予選通過後、そのままの映像で本選上映を希望する場合は、応募動画をそのまま使用します。
- ③ 応募時点で音声ファイルのみ提出した場合は、予選通過後、指定の期限までに完成動画を上の応募要領と同じ方法で提出してください。期限内に提出がない場合は失格となります。
- ④ 予選に提出した動画を差し替えたい場合も、指定の期限までに再提出することができます。この場合、期限までに新たな動画が提出されない場合は、予選段階で提出された動画を使用して本選で上映します。

## 8. 留意事項

- ① 応募資料3点を受信した場合、大東文化大学から3日以内（土日を除く）に受領確認のメール返信をする。それを経過しても返信がない場合は、念のため確認の問い合わせをしてください。
- ② 本選出場者の氏名、所属（学校名）、写真などはコンテストのプログラム、大学新聞、ホームページなどに公表する。応募のあった原稿の著作権は、大東文化大学に帰属する。
- ③ 個人情報保護法ならびに本学園規程に従い、応募者ならびに出場者の個人情報は本コンテストのみに利用し、それ以外の目的に利用しない。

## 9. 応募送付先とお問い合わせ

<b>E-mail</b>	お問い合わせ先	daito-esc@ic.daito.ac.jp	件名：コンテスト問い合わせ
	応募書類の提出先		件名：コンテスト応募

ご質問がある場合、「お問い合わせ先」のアドレスにメールでお尋ねください。

その際、整理の都合上、内容に合わせた件名をつけてくださるよう、ご協力お願いいたします。また、電話での問い合わせには対応いたしかねますので外国語学部事務室や国際交流センター等への電話はご遠慮願います。

(\*)「英語圏」とみなす具体的な国名・地域名は以下のとおり。(50音順)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイルランド</li> <li>・アメリカ合衆国</li> <li>・アンティグア・バーブーダ</li> <li>・イスラエル国</li> <li>・インド</li> <li>・ウガンダ共和国</li> <li>・英国（グレートブリテン及び北アイルランド連合王国）</li> <li>・エチオピア連邦民主共和国</li> <li>・オーストラリア連邦</li> <li>・ガイアナ共和国</li> <li>・ガーナ共和国</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンガポール共和国</li> <li>・ジンバブエ共和国</li> <li>・スーダン共和国</li> <li>・スリナム共和国</li> <li>・スリランカ民主社会主義共和国</li> <li>・スワジランド王国</li> <li>・セーシェル共和国</li> <li>・セントクリストファー・ネイヴィス</li> <li>・セントビンセント及びグレナディーン諸島</li> <li>・セントルシア</li> <li>・ソマリア連邦共和国</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バハマ国</li> <li>・パプアニューギニア独立国</li> <li>・パラオ共和国</li> <li>・バルバドス</li> <li>・東ティモール民主共和国</li> <li>・フィジー共和国</li> <li>・フィリピン共和国</li> <li>・ブルネイ・ダルサラーム国</li> <li>・ベリーズ</li> <li>・ボツワナ共和国</li> <li>・香港</li> <li>・マーシャル諸島共和国</li> </ul>
---	--	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・カナダ</li> <li>・カメルーン共和国</li> <li>・ガンビア共和国</li> <li>・キプロス共和国</li> <li>・キリバス共和国</li> <li>・クック諸島</li> <li>・グレナダ</li> <li>・ケニア共和国</li> <li>・サウジアラビア王国</li> <li>・サモア独立国</li> <li>・ザンビア共和国</li> <li>・シエラレオネ共和国</li> <li>・ジャマイカ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソロモン諸島</li> <li>・タンザニア連合共和国</li> <li>・ツバル</li> <li>・ドミニカ国</li> <li>・トリニダード・トバゴ共和国</li> <li>・トンガ王国</li> <li>・ナイジェリア連邦共和国</li> <li>・ナウル共和国</li> <li>・ナミビア共和国</li> <li>・ニウエ</li> <li>・ニュージーランド</li> <li>・パキスタン・イスラム共和国</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マラウイ共和国</li> <li>・マルタ共和国</li> <li>・マレーシア</li> <li>・ミクロネシア連邦</li> <li>・南アフリカ共和国</li> <li>・南スーダン共和国</li> <li>・モーリシャス共和国</li> <li>・ヨルダン・ハシェミット王国</li> <li>・リベリア共和国</li> <li>・ルワンダ共和国</li> <li>・レソト王国</li> </ul>
--	--	--

### 【参考】動画の作成方法

本選で使用する Zoom のアプリを使用すれば、スライド等を提示しながら本人の顔も画面に収めた動画が簡単に録画できます。

- ① 提示したい情報(テキスト、画像、動画など)は、一つの PowerPoint ファイルにまとめておく。スライドでは、アニメーションは使用しない方が上映の際に円滑になる。
- ② 使用するスライドを開いておく。このとき、スライドショーの設定で「出席者として閲覧する(ウィンドウ表示)」にしておく。
- ③ Zoom を起動し、マイ個人ミーティングを開始する。
- ④ Zoom で、自分のコンピュータに録画保存されるように録画を開始する。
- ⑤ スピーチを上演する。
- ⑥ 録画を停止し、保存されたファイルの余分な部分などをカットする。